

コミケビギナーのための 超・活・紹 コミバイブ

ComiNavi



大晦日を含む超年末3日間の開催日程も、2回目とせばもう『特別』ではありません。

スペシャルな日程でも基本は同じ。そう、的確な準備情報収集をしておけば怖くはないのです。

さあ、元気に冬コミを迎えて、今年を笑顔でしめくくしよう!!

■■やっぱり冬。何はともなしに寒く対策■

ただでさえ年末のあわただしい時期に開催される冬コミでは夏コミとはまた別な方向で身体に負担がかかっていることが多く、そこに無理をすればきめんに体調を崩してしまうだろう。そうならないためにも、きちんとした準備と装備で快適に会場を過ごし、余裕を持って帰宅するようにしよう!

■暑さ寒さは服の中から■

実に当然のことながら、夏コミは暑く、冬コミは寒い。ところが冬が夏よりもやっかいなのは冬コミでは、部分的にはあるが暑い状況があるということだ。

それは例えば往復の交通機関の暖房の効いた車内であったり、人気ジャンルの混雑の中であったりするが、往々にして上着を脱いだりすることが難しいケースであることが多い。そこで汗を多量にかいてしまい、後でそのせいで身体が冷えてしまうのが、実は冬コミでは一番怖いのだ。

単に寒気だけなら、体温を上げることや体温を奪われない工夫で対処することができる。しかし、汗をかいて下着を湿らせてしまうと、厚着している分、汗が抜けにくく身体が非常に冷えやすくなり、体温調整ができなくなってしまふ。まだ活動しているうちは良いかもしれないが、1日を通して身体に負担をかけ続けることになるので、往々にして風邪の原因になりやすい。

冬だから寒さ対策だけしておけば良いだろうと甘く見ずに、必ず着替え用のアンダーを持って行かず、汗の残らない化繊系のアンダーを着ていくようにしましょう。



■防寒レベルは自分の行動プランにあわせて■

実際、コミケットの体感環境は入場待機列をはじめとする行列にどのくらい並ぶかによって、全く変わってくるのだ。雪だるまのようにモコモコに着込んでおけば確かに寒さには耐えられるかもしれないが、いざホールに入った時にはその防寒具が逆に邪魔になってしまうし、逆にホール内を移動する分には適当な服装でも入場待機や購入行列のために吹きさらしの屋外に並びつづけるには防寒能力が全く足りないという場合もあるだろう。

事前に自分が家を出る時間、会場に到着する時間、会場内で回る場所、会場を出る時間などをメモに書き出し、会場内のマップなども併用して行動予測を立ててみよう。

現在のところ、コミケットの開場である午前10時から概ね2時間後には一般待機行列は無くなっている。つまり正午以前に開場に到着する予定だと、多かれ少なかれ待機列には並ばなくてはならないので、冷たい風を防げることと体温を奪われないことを重視したそれなりの防寒装備は必須になる。これが10時以前の到着だと、開場までの間動かずに待っていることになるため、より重装備の防寒対策が必要になってくるのだ。